



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
東

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所

コード番号 2378

URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 望月 美佐緒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 最高財務責任者

(氏名) 安澤 嘉丞

(TEL) 03-5600-7811

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	16,405	5.4	361	—	162	—	74	47.4
2026年3月期第1四半期	15,560	0.8	△280	—	△518	—	50	△74.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 60百万円(△32.9%) 2026年3月期第1四半期 90百万円(△44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	3.69	3.41
2026年3月期第1四半期	2.42	2.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	57,482	9,569	16.6
2026年3月期	57,043	9,689	17.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 9,557百万円 2026年3月期 9,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	4.00	—	9.00	13.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	4.00	—	9.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	4.1	700	—	250	—	100	306.8	4.76
通期	68,000	4.7	1,800	15.0	900	13.2	500	—	25.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	21,379,000株	2026年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,463,745株	2026年3月期	2,463,745株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	18,915,255株	2026年3月期1Q	18,896,013株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（参考）種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	4.78	—	4.78	9.56
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		4.78	—	4.78	9.56

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)においては、スポーツクラブ事業において、昨年10月に実施した価格改定の効果により会費単価が上昇したほか、期初の新規入会が順調に推移しました。また、介護リハビリ事業において、2025年12月に完全子会社となった株式会社楓の風(以下「楓の風」と言います。)及び2026年4月に事業譲受したリハビリ特化型デイサービス「マイリハ」5施設が純増したこと等により、売上高は前年同期を上回る推移となりました。

営業利益の面においては、主に人件費が前年同期から増加したものの、設備投資の厳選や水光熱費の抑制等に努め、全体は計画に近い水準で推移しました。

この結果、売上高164億5百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益3億61百万円(前年同期より6億42百万円増)、経常利益1億62百万円(前年同期より6億80百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益74百万円(前年同期比47.4%増)となりました。

なお、当社グループは従来、報告セグメントを「スポーツクラブ運営事業」のみとしておりましたが、近年のM&Aにより、ホームフィットネス事業が加わったこと及び介護リハビリ事業の売上規模が拡大したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「スポーツクラブ及びその周辺事業」「ホームフィットネス事業」「介護リハビリ事業」に変更いたします。詳しくは、本日公表の「報告セグメントの変更に関するお知らせ」をご覧ください。

当社グループは、2026年5月に「2026-2030中期経営計画」を策定し、「スポーツクラブ事業の収支構造改革」「ホームフィットネス事業及び介護リハビリ事業等他事業の成長加速」「本部コストの抑制・効率化」「新リース会計を見据えた財務体質の強化」を重要テーマに位置づけております。また、新たに「人生100年時代のWell-being共創カンパニー—スポーツとヘルスケアで人と人をつなぎ、生きがいを共に創る—」を長期ビジョンに掲げ、すべての人々が自分らしく輝ける社会に向けて課題解決と価値創造に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりです。

＜スポーツクラブ及びその周辺事業＞

スポーツクラブ及びその周辺事業では、スポーツクラブ事業において、昨年10月に実施した価格改定の効果により会費単価が上昇しました。加えて、前連結会計年度の期初においてスポーツクラブの集客が低調となったことを踏まえ、営業体制を重点的に整備したことが奏功し、既存店における4月～5月の新規入会者数が順調な滑り出しとなりました。特に、2025年4月に吸収合併した株式会社スポーツオアシスと既存ルネサンス双方の店舗網を活かし、前年度から引き続き企業・健康保険組合向けマンスリーコーポレート会員が好調となったことに加え、旧スポーツオアシスの店舗においてスイミングスクール運営が安定化したこと等により、前年比でジュニアスイミングスクール会員の入会者数の増加及び退会者数の改善が進みました。また、スポーツクラブ事業の収支構造改革の一環として、6月末に大阪府の総合型スポーツクラブ2施設を退店いたしました。この結果、スポーツクラブの在籍会員数は440,122名(前年同期比0.2%増)となりました。

なお、7月より東急株式会社の100%子会社である東急スポーツシステム株式会社が運営する総合型スポーツクラブ5施設、小型業態2施設、スイミングスクール1施設(※)の計8施設を事業譲受し、「ルネサンス アトリオドゥーエ Next」「ルネサンス アトリオライト」として運営を開始しております。

※事業譲受後、スイミングスクールは隣接する総合型スポーツクラブと合算してカウントしております。

スポーツクラブ運営のノウハウを活かしたPPP事業(公共施設等官民連携事業)においては、4月より福岡県福岡市、福岡県古賀市、香川県三豊市において新たに5施設の管理運営を開始しました。さらなる拠点数の拡大及び運営の効率化に向けて取り組んでおります。

地域健康推進事業では、自治体の介護予防教室や学校水泳授業の受託を推進し、水泳授業の受託件数は需要の拡大を背景として前年同期比28.0%増となりました。また、当第1四半期連結累計期間において、福岡県糟屋郡粕屋町及び山口県周南市と「包括連携協定」、福島県三春町と「健康づくりに関する連携協定」、岐阜県と「健康増進等に関する連携協定」を締結しました。当社の健康づくりの知見を活かし、自治体との連携を通じた地域住民の皆様の健康増進及び地域社会の活性化に取り組んでおります。

BtoBソリューション事業では、企業の従業員や健康保険組合員の方に向けて、当社スポーツクラブやオンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream」の利用を通じた働く人の健康づくりを支援するとともに、契約企業数及び健康保険組合数の拡大に取り組みました。

以上の結果、スポーツクラブ及びその周辺事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は146億64百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は12億20百万円（前年同期比159.3%増）となりました。

<ホームフィットネス事業>

ホームフィットネス事業では、家庭用運動器具や美容器具等の販売に取り組み、EC販売において売れ筋商品のステッパシリーズが順調に推移したほか、顔回りのたるみケアと飲み込む力（嚥下）の両面をサポートする美顔器「スタイリーフェイス」の新タイプ「スタイリーフェイスpetit（プチ）」の販売を5月より開始し、順調な滑り出しとなりました。TV通販では、一部商品の売れ行きが前年度から鈍化したものの、座りながら内転筋を鍛えることができる「スタイリーボール」等の人気商品が堅調に推移しました。

以上の結果、ホームフィットネス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は8億37百万円（前年同期比17.1%減）、セグメント利益は1億55百万円（前年同期比40.2%減）となりました。なお、ホームフィットネス事業につきましては、当中間連結会計期間の計画を保守的に見積もっており、計画に対しては売上、利益ともに上回って進捗しております。

<介護リハビリ事業>

介護リハビリ事業では、4月に株式会社レーベンコミュニティより事業譲受したリハビリ特化型デイサービス「マイリハ」5施設を、当社が展開する「元氣ジム」にブランド転換し運営を開始しました。当施設においては、「元氣ジム」の運営ノウハウを活かした個別機能訓練加算や口腔機能向上加算の算定等による収益性の向上に取り組んでおります。また、前年度に新規開設した施設において、利用者の充足率が計画を上回り順調に推移しました。2025年12月に完全子会社化した、全国で通所介護施設を運営する「楓の風」は、売上、利益ともに計画に近い水準となりました。

以上の結果、介護リハビリ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は9億3百万円（前年同期比64.0%増）、セグメント利益は37百万円（前年同期より67百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の新規出退店（業務受託、指定管理を含む）は以下のとおりです。

出店・開設 時期	施設名	施設形態
2026年4月	ルネサンス 元氣ジム五香（千葉県松戸市）※	介護リハビリ （直営）
2026年4月	ルネサンス 元氣ジム三郷（埼玉県三郷市）※	介護リハビリ （直営）
2026年4月	ルネサンス 元氣ジム浦和（埼玉県さいたま市）※	介護リハビリ （直営）
2026年4月	ルネサンス 元氣ジム吉川（埼玉県吉川市）※	介護リハビリ （直営）
2026年4月	ルネサンス 元氣ジム柳島（埼玉県草加市）※	介護リハビリ （直営）
2026年4月	三豊市総合体育館（香川県三豊市）	指定管理
2026年4月	三豊市緑ヶ丘サッカー場（香川県三豊市）	指定管理
2026年4月	福岡市立東市民プール（福岡県福岡市）	指定管理
2026年4月	福岡市立中央市民プール（福岡県福岡市）	指定管理
2026年4月	古賀市健康文化施設「クロスパルこが」（福岡県古賀市）	指定管理
2026年4月	BEACHTOWN 服部緑地（大阪府豊中市）	アウトドアフィットネス （直営）
2026年4月	アウトドアフィットネス千葉ポートパーク（千葉県千葉市）	アウトドアフィットネス （業務受託）

※事業譲受による新規開設となります。

退店・受託 終了時期	施設名	施設形態
2026年5月末	greener (千葉県市川市)	アウトドアフィットネス (業務受託)
2026年5月末	ルネサンス 元氣ジム鹿児島中央 (鹿児島県鹿児島市)	介護リハビリ (フランチャイズ)
2026年6月末	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンスあべの24 (大阪府大阪市)	スポーツクラブ
2026年6月末	フィットネスクラブ&サウナ ルネサンス住道24 (大阪府大東市)	スポーツクラブ

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ237施設（ルネサンス：直営140施設、小型業態2施設、業務受託90施設、運営支援4施設、RENAISSANCE VIETNAM, INC.：直営1施設）、介護リハビリ91施設（ルネサンス：直営44施設、フランチャイズ11施設、楓の風：直営13施設、フランチャイズ23施設）、アウトドアフィットネス9施設（直営4施設、業務受託5施設）の計337施設（前年同期より44施設増）となりました。

また、2026年7月以降、下表の施設の新規出店を予定しています。

出店・開設 時期	施設名	施設形態
2026年7月	フィットネスクラブ&サウナスパ ルネサンス アトリオドゥーエNext武蔵小山24 (東京都品川区) ※	スポーツクラブ
2026年7月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス アトリオドゥーエNext碑文谷 (東京都目黒区) ※	スポーツクラブ
2026年7月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス アトリオドゥーエNext二子玉川 (東京都世田谷区) ※	スポーツクラブ
2026年7月	スポーツクラブ&スパ ルネサンス アトリオドゥーエNext青葉台24 (神奈川県横浜市) ※	スポーツクラブ
2026年7月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス アトリオドゥーエNextたまプラーザ (神奈川県横浜市) ※	スポーツクラブ
2026年7月	フィットネスクラブ ルネサンス・アトリオライト 白楽24 (神奈川県横浜市) ※	フィットネスジム
2026年7月	フィットネスクラブ ルネサンス・アトリオライト エトモ池上 (ホットヨガ&ピラティススタジオ befreエトモ池上併設) (東京都大田区) ※	フィットネスジム

※事業譲受による新規出店となります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億38百万円増加し、574億82百万円となりました。これは主に、投資その他の資産その他（店舗賃借仮勘定等）が増加したこと等により投資その他の資産合計が5億34百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億58百万円増加し、479億12百万円となりました。これは主に、流動負債その他（未払費用等）が増加したこと等により流動負債合計が14億14百万円増加した一方で、リース債務が減少したこと等により固定負債合計が8億56百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億19百万円減少し、95億69百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益74百万円を計上したこと、配当金1億80百万円を支払ったこと等により利益剰余金が1億5百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2026年5月8日に公表しました2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,570,778	8,776,530
売掛金	2,238,549	2,041,234
商品	754,882	753,642
その他	2,559,221	2,282,547
貸倒引当金	△10,500	△12,010
流動資産合計	14,112,931	13,841,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,155,129	9,469,379
リース資産（純額）	12,003,966	11,723,930
その他（純額）	3,757,929	3,919,105
有形固定資産合計	24,917,025	25,112,415
無形固定資産		
のれん	1,545,833	1,508,856
顧客関連資産	493,571	468,868
その他	524,882	566,415
無形固定資産合計	2,564,287	2,544,139
投資その他の資産		
投資有価証券	31,557	29,563
敷金及び保証金	11,938,213	11,883,597
繰延税金資産	2,568,704	2,613,858
その他	908,788	1,454,708
投資その他の資産合計	15,447,265	15,981,728
固定資産合計	42,928,578	43,638,284
繰延資産	2,100	1,800
資産合計	57,043,609	57,482,028
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,766	78,678
短期借入金	5,500,000	5,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,243,408	2,243,408
未払法人税等	466,851	222,187
賞与引当金	1,385,216	723,500
資産除去債務	696,624	998,446
その他	6,989,864	8,809,066
流動負債合計	17,360,731	18,775,286
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,499,988	1,499,988
長期借入金	6,707,382	6,620,530
リース債務	13,813,954	13,552,112
退職給付に係る負債	1,240,360	1,258,727
資産除去債務	3,616,656	3,317,269
その他	3,115,095	2,888,530
固定負債合計	29,993,437	29,137,157
負債合計	47,354,168	47,912,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,210,356	3,210,356
資本剰余金	5,716,947	5,716,947
利益剰余金	3,316,311	3,210,812
自己株式	△2,486,838	△2,486,838
株主資本合計	9,756,776	9,651,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,685	13,485
為替換算調整勘定	△205,964	△214,922
退職給付に係る調整累計額	111,270	108,070
その他の包括利益累計額合計	△79,009	△93,366
新株予約権	11,673	11,673
純資産合計	9,689,440	9,569,584
負債純資産合計	57,043,609	57,482,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,560,516	16,405,581
売上原価	14,886,960	15,072,145
売上総利益	673,556	1,333,436
販売費及び一般管理費	954,490	971,676
営業利益又は営業損失(△)	△280,934	361,759
営業外収益		
受取利息	1,765	1,561
為替差益	—	12,337
助成金収入	9,176	2,299
その他	20,768	17,773
営業外収益合計	31,710	33,972
営業外費用		
支払利息	202,674	224,658
為替差損	53,354	—
その他	13,386	8,986
営業外費用合計	269,415	233,645
経常利益又は経常損失(△)	△518,639	162,086
特別利益		
固定資産売却益	973	—
特別利益合計	973	—
特別損失		
固定資産除却損	9,271	6,228
その他	669	1,933
特別損失合計	9,940	8,162
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△527,606	153,924
法人税、住民税及び事業税	27,037	123,074
法人税等調整額	△605,342	△43,888
法人税等合計	△578,305	79,186
四半期純利益	50,699	74,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,699	74,738

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	50,699	74,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,327	△2,199
為替換算調整勘定	35,333	△8,957
退職給付に係る調整額	△347	△3,199
その他の包括利益合計	39,313	△14,357
四半期包括利益	90,013	60,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,013	60,380
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 及びその周辺 事業	ホーム フィットネス 事業	介護リハビリ 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	13,999,041	1,010,734	550,740	15,560,516	—	15,560,516
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,999,041	1,010,734	550,740	15,560,516	—	15,560,516
セグメント利益 又は損失(△)	470,585	260,656	△30,333	700,908	△981,843	△280,934

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△981,843千円には、のれん償却額△21,066千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△960,777千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 及びその周辺 事業	ホーム フィットネス 事業	介護リハビリ 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	14,664,627	837,770	903,184	16,405,581	—	16,405,581
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,664,627	837,770	903,184	16,405,581	—	16,405,581
セグメント利益	1,220,137	155,889	37,372	1,413,399	△1,051,639	361,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,051,639千円には、のれん償却額△36,976千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,014,662千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「スポーツクラブ運営事業」の単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「スポーツクラブ及びその周辺事業」、「ホームフィットネス事業」及び「介護リハビリ事業」に変更することといたしました。これは、2026年5月8日に公表した「2026-2030中期経営計画」の実行と目標達成に向け、各事業の収益性及び成長性をより適切に把握し、事業ごとの投資判断及び経営資源の配分を高度化することを目的としております。

各報告セグメントの主な事業内容は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業内容
スポーツクラブ及びその周辺事業	スポーツクラブの運営、公共・民間施設の運営受託、自治体向け健康づくり支援、企業・健康保険組合向け健康づくり支援、アウトドアフィットネス
ホームフィットネス事業	家庭用運動器具、美容器具、サプリメント等の開発・販売
介護リハビリ事業	リハビリ特化型デイサービス・通所介護施設の運営、機能改善支援

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	808,276千円	792,735千円
のれんの償却額	21,066千円	36,976千円